



# コロバたより

2014. 3. 1 No. 17

発行 沖洲放課後クラブ(愛称コロバクラブ)

〒770-0874 徳島市南沖洲 1-3-4

TEL&FAX 088-664-2875 携帯 090-7626-5643

メール [katohiroko@fm2.seikyuu.ne.jp](mailto:katohiroko@fm2.seikyuu.ne.jp)

## 遊びのすすめ

コロバクラブ副会長 岩見 宏康

子どもたちは遊ぶことが大好きです。でも、安全な遊ぶ場所が少ないし、遊ぶ仲間も少ない時代になってしまっただけでかわいそうですね。だから、家の中でゲームをしたりする子が多くなってきました。このような社会では、健全な子どもの成長は難しいと思います。子ども時代にしっかりと遊ぶことによって、人と人との関係を自然と学び取る体験をし、思いやりなど豊かな感性を身につけていくことができるのです。

わたしの家の近くに公園があるのですが、子どもたちののはしゃぐ声を聴き、元気に遊ぶ様子を見てみると「いいもんだなあ」とほほえましくなってきます。

遊んでいるとこけたりして怪我もするでしょう。仲間が寄ってきて世話をしたり、励ましたりしています。また、言い合いになったりして喧嘩も起こります。すねて帰ってしまう子もいます。でも、子どもの喧嘩は「ごめんよ」の一言で仲直りして一緒に遊んでいます。子ども同士で起きたことは、大人が中に入るとうまくいきません。見守っていればよいと思います。

親は、子どもの訴えをまともに聞いてはいけません。自分の悪いことは言いません。喧嘩は意見の衝突から起こるのだから、五分五分と考えて接していけばいいでしょう。

子どもには、喧嘩をするくらい元気さが欲しいと思っています。けれども、喧嘩をしても「相手を傷つけるようなことは、絶対にしてはいけないこと」「相手の気持ちを害するような言葉を使わないこと」この二点を厳しく言うておくことは大切です。

子どもを取り巻く環境は、遊びを奪っています。安全で安心できる広場がもっと多くできるようにしてほしいですね。学校や幼稚園、保育所など運動場を開放したら、子どもの遊び場が確保できると思います。のびのびと子どもたちが遊べるように大人が知恵を出し合っていきたいものですね。

※コロバクラブには、遊ぶための仲間と場所があります。宿題やいろいろな体験活動もありますが、学年を超えた子ども同士の自由遊びの時間をこれからも大切にしたいと思います。



## 《今年も楽しく活動できました！》月曜日のコロバスペシャル

特別な支援が必要な子どもたちのための少人数のソーシャルスキルグループ学習（コロバスペシャル）は、今年最終的に沖洲小、福島小、城東小、千松小、内町小のお友だち8名と保護者8名と大学生ボランティア3名の総勢19名の大所帯になりました。

そして、みんながとっても仲良し家族になりました。自己有用感を高め、コミュニケーションスキルを高める集団ゲームは、大人にとってもアルツハイマーを防ぐよい脳トレになっています。



### 後期のソーシャルスキル学習例

- ・言葉のふしぎ
- ・上手な頼み方&断り方
- ・自分の体と話そう
- ・フリをする力&リハーサル力&モデリング力
- ・卒業進級おめでとう会（フォンジュたこ焼きとシルエット、親は誰だゲーム）

### 『ステキさ！コロバクラブ』

平先生の作詞作曲

コロバと出会ってどのくらいたったんだろう  
あれから何年？  
みんなと一緒に笑ったり  
泣いたり 勉強したね  
ゲームをいっぱいしたね  
ごはんも 作ったね  
たくさん 笑いあったね  
コロバクラブ ステキさ  
こんなにいいところはない  
コロバクラブ ステキさ  
やさしさに あふれているよ

コロバに來れば みんな笑顔になる  
コロバのみんなと 顔をあわせれば  
楽しくいられる  
ヒトはないものねだり  
あるものに気づかない  
自分を信じて前へ

イヤなこと忘れる

コロバクラブ ステキさ  
こんなにいいところはない  
コロバクラブ ステキさ  
愛がたくさんあふれているよ



みんなと出会ってよかった  
こんなステキなことはない  
コロバに來る子ステキさ 一緒に成長  
パパとママもステキさ みんなで笑顔になろう  
加戸先生もステキさ いつも元気でいっぱい  
学生みんなもステキさ 人生をともに分かち合おう  
コロバクラブ ステキさ 心をこめて伝えたいんだ  
あいしてるよ



## 《コロバクラブの活動日記から①》「クリスマス生け花にチャレンジ」



クリスマス間近の12月6日、野地美和子先生をお迎えして、一人一人が各自のオアシスに自分の思いを表現しました。野地先生がたくさんの材料を準備下さった上に熱意あふれるご指導をして下さったので、誰もが素敵な作品を仕上げました。先生は、年間計画作成会にもご参加下さり、来年度 春のお茶会、秋のお茶会、クリスマス生け花もご指導下さることになりました。とても楽しみです。



## 《コロバの活動日記から②》

### 「日本一の紙飛行機にチャレンジ」

徳島市には、世界に通用するような素晴らしい先生方が



たくさん住んでおられますが、太田周造先生もそのお一人。

独学でコツコツ研究されて、独自の紙飛行機の作り方をあみだされ、コロバの子どもたちにご指導下さいました。みんな初めて見る珍しい折り方に興味深々。難しいところは、高学年のお友だちに手伝ってもらって、早速、夜空に飛ばしました。



## 《コロバの活動日記から③》ダンボールの基地作り!

異年齢のよさを存分に味わえる活動は、ダンボールの基地作り。6年生は、みんなが活動に参加でき、みんなの思いが形になるよう「A君これでいい。Bちゃん、ここ持って。」と上手にリーダーシップを取っていました。コロバは、低学年からの参加も楽しいですが、本当にその醍醐味が味わえるのは高学年になってから。みんな悩みながら、自分のことを内省しながら、よいリーダーに育っていきます。



ダンボールの基地作りは、難しく何度くじけそうになりました。でも、みんなのアイデアを出し合って、完成したときまるで本物の家の家族のようでした。こわすのは初めはちょっと辛かったけど、でもストレス発散になりました。(笑)



### 《真衣先生のお話》



子どもたちが力を合わせていどむクリスマスパーティーなどのお楽しみ会は、毎回新しいアイデアがどんどん出てきて、自分のアイデアを形にしようとする子どもたちの行動力に驚きます。毎回盛りだくさんで準備も大変な思いをしていますが、みんなすごく楽しそうで、片付けが終わっても興奮がさめません。そんな子どもたちのエネルギーを最大限発揮できるコロバは、子どもたちにとってとても大切な場所なのだなと思います。私も子どもたちと一緒に活動できてとても幸せでした。ありがとうございました。

### 《彩葉先生のお話》

コロバクラブでのボランティアを通し、子どもたちの成長を見届けることができ、喜び一杯の4年間でした。子どもたちと一緒に笑い合い、喜び合うことができ、私も元気をたくさんもらいました。これからも仲良く助け合いながらコロバクラブでの活動で様々なことを学んでもらいたいと思います。本当に世話になりました。



**進級卒業おめでとう会の平先生あやな先生と  
6年生、みなさん本当にお世話になりました！**

### 《平先生のお話》

徳島大学に入学してから、すぐこのコロバクラブと出会って、加戸先生へお電話を差し上げたことを今でも覚えています。長いようで、とても短く、短いようで、とても長く感じた4年間ではありましたが、コロバクラブで出会ったお子様たちや保護者の皆様、しいては家庭教師でもお世話になったこと全てに感謝しています。子どもたちと関わる中で自分自身も成長し、多くのことを学ばせてもらいました。こちらで経験したことや学んだことを胸に前へ未来へと人生を歩いていきます。「コロバクラブ ステキさ！こんないいところはない！！by ひら先生」

### 《香菜実先生のお話》

月曜日は、1週間の始まりでなかなかやる気が出ない私ですが、コロバへ来ると子どもたちからたくさんエネルギーをもらうことができました。この1年間でコロバの子どもたちは心も体も大きく成長したと思います。そんな貴重な時間を一緒に過ごすことができ、とても嬉しく思っています。私はまだ来年度もコロバへ来るつもりでいますので、また、これからもよろしくお願いいたします。



### 《保護者のお話》

加戸先生始めスタッフの先生方には大変お世話になりました。親子でたくさん経験させていただきました。特に発表は、子どもにとって挨拶や気持ちを伝えることなどとても良い経験だったと思います。(K.Y.)

**岩見先生が竹のペン立てを教えてくださいました。 ※この小冊子は、大同生命の助成金により作成しました。**